



2月 保育所だより

滑川市立あずま保育所
TEL 475-0877
FAX 476-6363
令和6年 2月

冷たい風が頬をなで、まだまだ厳しい寒さが続いている今日この頃。

先月は雪が降り、積もった雪の上で思い切り雪遊びを楽しみました。子どもたちは雪だるまづくりや雪合戦と冬ならではの遊びを楽しみました。

今年は4年に1度の「うるう年」にあたります。暦と実際の太陽の動きの差を調整するために2月29日が追加される特別な日です。せっかくなので、子どもたちにも“おまけの日”がある理由をわかりやすく伝えていければと考えています。

また、今月は節分もあります。昔からの風習、伝統を子どもたちに感じてもらえればと思います。



- 2日(金) 豆まき会
- 9日(金) 避難訓練(引き渡し訓練)
〃 内履き返し
- 15日(木) 交通指導(シグナルリーダー)
- 16日(金) 身体測定
- 21日(水) 誕生会
- 22日(木) お別れ遠足(らいおん組)
〃 布団・内履き返し
- 28日(水) ショコラさん観劇
- 29日(木) ひな祭り会

※3月20日(水・祝)に卒園式をします。
らいおん組ときりん組が参加します。

毎月避難訓練をしています

今月の避難訓練では、地震を想定して、保護者の方にお子さんを引き渡すまでの訓練を行います。コドモンを使用している訓練は初めての実施となりますが、ご協力いただきますようお願いいたします。詳細については後日お知らせします。

津波を想定した避難場所

寺家小学校の屋上



4にんのおともだち
おたんじょうびおめでとう!

普段の食べ物で 災害に備えましょう

非常食は「いつもの味」で
非常時、せっかく準備した食料も、慣れない味だと、子どもは食べられないことがあります。普段から、即席のお味噌汁やレトルト食品も試してみましょ。家族それぞれの好みの物を備えておきます。

日常的にストックを
アレルギー食品やお菓子は、非常時には手に入りにくい物も。消費期限に注意しながら、日常的にストックし、味に慣れておくようにしましょ。

母乳とミルク
被災時には、人によっては母乳が出なくなることも。普段から、可能な範囲で液体ミルクを試しておくとう安心です。一方で、普段はミルクのことが多い子ども、母乳も飲むようにしていると、被災直後であってもすぐに与えることができます。

備える
非常時のお菓子は、子どもの不安を和らげます。クッキーなど、長期保存できる物を準備します。

買い足す → **食べる**
非常食を日常でも定期的に食べて、食べたと同じ物を買って「ローリングストック法」も。消費期限が過ぎるのを防ぎます。

- 飲料水(1人3ℓ×3日分)
- 主食(パン、レトルトご飯、乾麺など)
- 副食(缶詰、レトルトパウチ食品、即席味噌汁など)
- ミルク(液体、粉タイプの物)
- アレルギー対応の食品
- 果物の缶詰
- お菓子類(個別包装の物、クッキー、ドライフルーツなど)